



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行  
市議団ニュース

ご相談は  
お気軽に  
市議会議員  
福田 明  
43-0468  
市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

# 国民健康保険のデータに みる県内での本市の実態

国民皆保険の根幹をなす国保ですが、全国的に滞納者が増えて保険証がもらえず、病院にかかれないうという深刻な事態が起きています。県内44市町村の国保のデータから北茨城市の実態を探ってみました。

本市の国保加入率は28.47%で、35位です。国保税額を決める大きな要因となる所得割は7.50%。取手市と並んで県内一高くなっています。資産割も5位となっており、税率的には県内で最も高い自治体の一つです。その結果、かつて本市の1人当りの国保税額は県内で最も低いとされてきましたが、現在は25位に上がっています。また、国保税の収納率は84.60%

注目したいのは1人当りの医療費(療養諸費用額)です。本市の受診率は県内12位ですが、医療費は県内1位の高さです。かつて議会で「本市の医療費がなぜ高いのか」という質問に、「本市の周辺には医療機関が他市に比べて多いのも要因の一つ」との答でしたが、はたしてそうでしょうか。また、一般会計からの国保への繰入金(県内5位。基金保有額は34位です。

県内の国保データから抜粋(08年度決算)

|          | 北茨城市  | 高萩市   | 日立市   |
|----------|-------|-------|-------|
| 国保加入率    | 35位   | 38位   | 44位   |
| 国保の所得割   | 7.50% | 6.62% | 4.94% |
| 受診率      | 9位    | 12位   | 15位   |
| 医療費/人    | 1位    | 5位    | 9位    |
| 収納率      | 42位   | 39位   | 12位   |
| 一般会計繰入/人 | 5位    | 20位   | 36位   |
| 基金保有額/人  | 34位   | 20位   | 23位   |



左から稲葉のぶとし参院茨城選挙区予定候補、宇野たか子常陸太田市議、塩川てつや衆院議員

## 「食わず嫌い」

「埼玉県の田舎に生まれ育った私は、タヌキやキツネは見たことがあっても、共産党の姿は見たこともありませんでした。大学に入って、平和問題への関心から日本共産党に近づき、その一員となりました。

それを知った母親にこんなふうに言われました。「お前はニンジンが嫌いだろう。それと同じように、お母さんは共産党が大嫌いなんだよ」でも、私のニンジンは「食わず嫌い」でした。食べてみればおいしく、いまでは大好きです。共産党に対しても「食わず嫌い」の人はいるのではないのでしょうか。私の母親も、いまでは日本共産党を応援してくれています」(塩川てつや衆院議員、常陸太田市の演説会で。5/22)

## 市立総合病院の現状

議会議事録  
での報告

5月28日、市議会の全員協議会が開かれ、市立総合病院の現状についての報告がありました。市広報で、5月からの病院診療体制のお知らせ

## 日本共産党参院茨城選挙区

### 稲葉のぶとし かけある記 「経済懇談会」の案内

5月18、19日の2日間、6月3日に計画した「経済懇談会」を案内するために、開催地の筑西市内で訪問・対話活動をおこないました。市役所は市長さんをはじめ部長さん、支所長さん、農協とその各支所、下館駅前の商店会役員、同商店街の各店舗、下館卸団地の各店舗など、合わせて72の団体・業者・商店・個人を回りました。

商店では、「商売は赤字よ。まわりの店もみなさんいつやめるかを考えている」「土日はまるで正月のように人通りがなくなる」「卸団地のなかで今年新たに2軒が廃業した」と深刻な状態が広がっていました。トラック運送業の社長さんは、「かつては30人の運転手がいたが、今では半分減らしている。長年自民党を応援してきたが、もう政治からは手をひく。民主党もそ

う簡単には変えられないだろうから、今度の選挙は共産党はチャンスじゃないの」と激励してくれました。

5月21日は、桜川市役所に向かい、中田裕・桜川市長に申し入れ、懇談しました。地元党支部が取り組んだ市民アンケートに寄せられた声や集計結果を伝えて、市の予算や行政に反映してもらうためです。「生活が苦しくなった」との声が多いこと、デマンドタクシーの運用改善、住宅リフォーム制度の採用などを要請しました。市長は、「デマンドタクシーはより利用しやすいように改善をしていきたい」と答えました。



常陸太田の演説会で(5/22)

保健・予防医学の推進が本市には強く求められる」と述べています。

週1の非常勤で残ってくられる。ハートフルセンターはしばらく休止せざるをえないが、医師の招へいに全力をあげている。市民の皆様にはご迷惑・ご心配をかけているが、一人でも多くの医師確保が新病院推進のためにも不可欠であると考えている」と述べました。

新しい眼科医(5/12再開)については、手術対応もできるよう検討しているところだ。また、病院会計の実務については、係員を市の直接雇用とし、医事業務専門の嘱託職員も複数雇用し、接遇や業務研修にも力を入れていきます。

6月議会中に、病院対策の特別委員会を設置する方向も確認されました。